

福留・関西新洋米村JV 県道高知本山線現場だより(7月号)



公共工事に適用される国土交通省のICT技術の活用



i-Construction

現場航空写真(施工前)



日頃より工事にご協力頂き、まことにありがとうございます。
7月に入ってグズついた、あいにくの天気が続いておりますが今年はどうか台風の影響がありません様にと祈るばかりです。最近、市内のいたるところで、よさこい踊りの練習をしている方々を見かけるようになり、高知の暑い夏がまたやって来るんだな〜と楽しみに思う、今日この頃です。

工事の方はICT活用工事となっており、レーザスキャナによる起工測量・切土の計画データ作成が終わり、従来は丁張を入れて切土掘削を行っていましたが、バックホウにマシンガイダンスを搭載し、計画したデータを入力し運転席でオペレーターがモニター画面を見ながら掘削を行う事により安全性、労働力、品質、生産性の向上確保に繋がります。只今、法面上部より掘削した残土を不整地運搬車にて狭路で急峻な仮設道路を苦労しながら雨と戦いつつ作業にあっておりますが、交通災害や熱中症など安全面に十分配慮し早期に工事が完成出来るよう慎重に作業を進めてまいります。

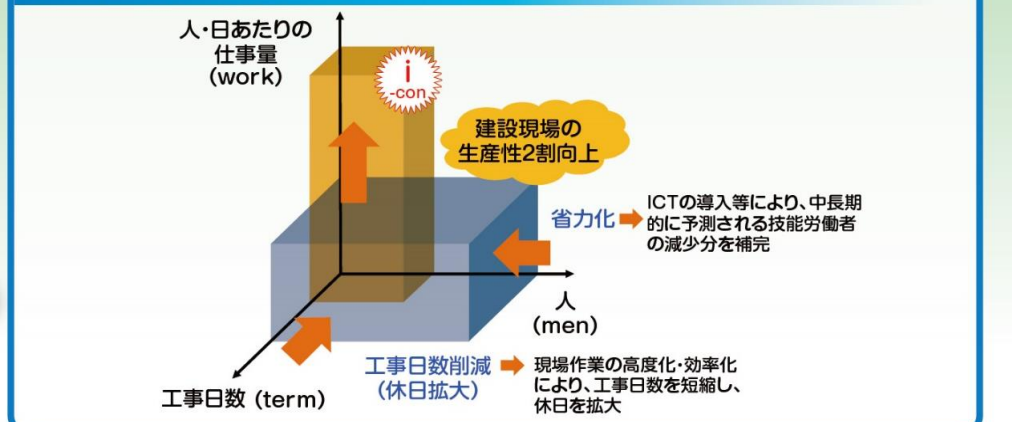
現在の建設業界の問題点

- 深刻な労働力不足
- 低い労働生産性
- 地球温暖化問題への対応 (CO2削減)
- 施工現場の安全確保
- 熟練技術者・技能者の不足 (少子高齢化)
- 社会資本の老朽化と維持管理費の増加
- 3K(きつい、きたない、危険)からの脱却
- 品質確保、監督検査の重要性

i-Constructionにより、これまでより少ない人数、少ない工事日数で同じ工事量の実施を実現



生産性向上



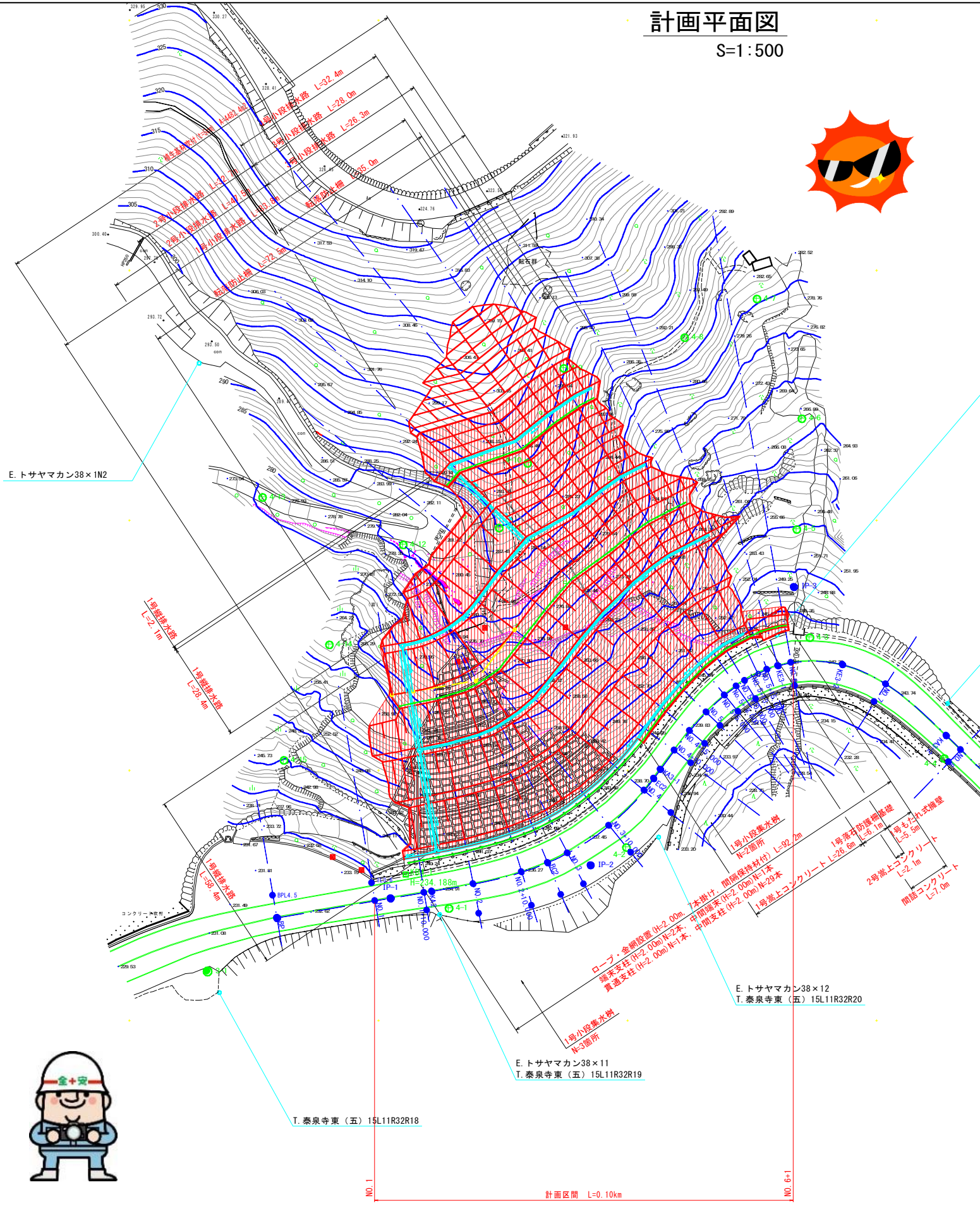
①レーザスキャナによる起工測量



②起工測量点群データの不要点削除



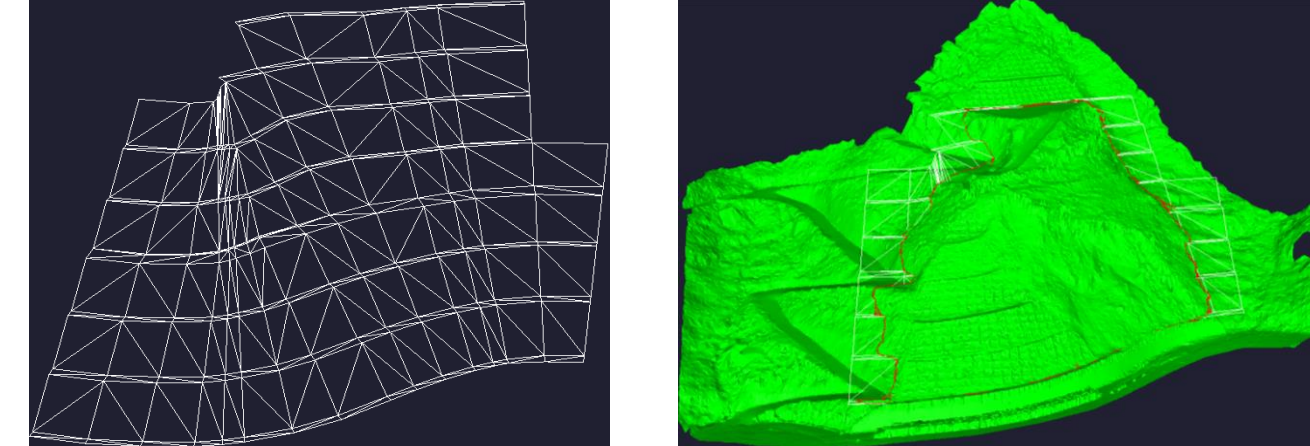
計画平面図
S=1:500



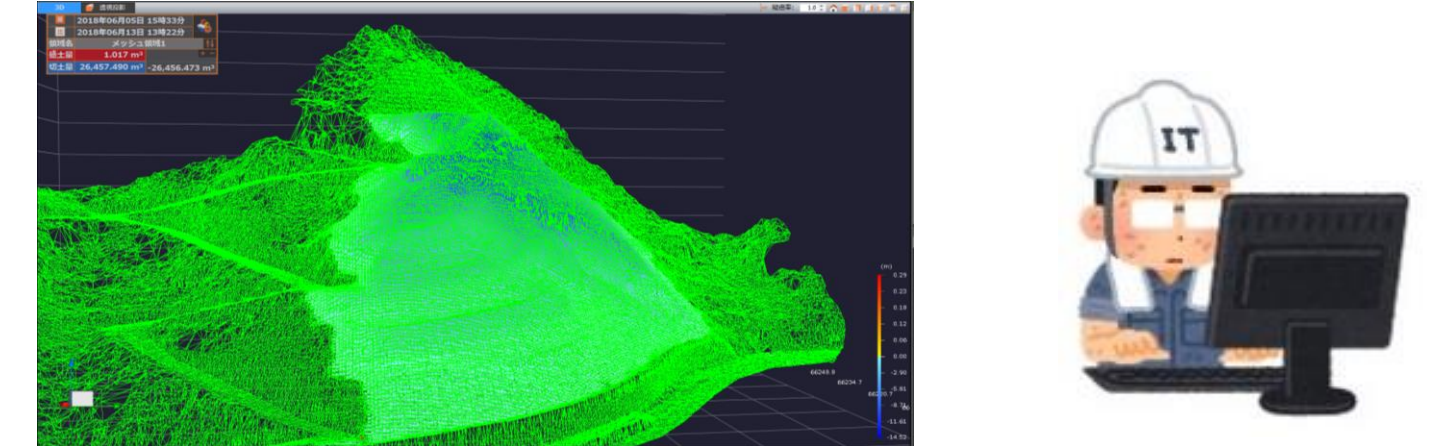
6月度進捗状況



③起工測量データに計画データを合成



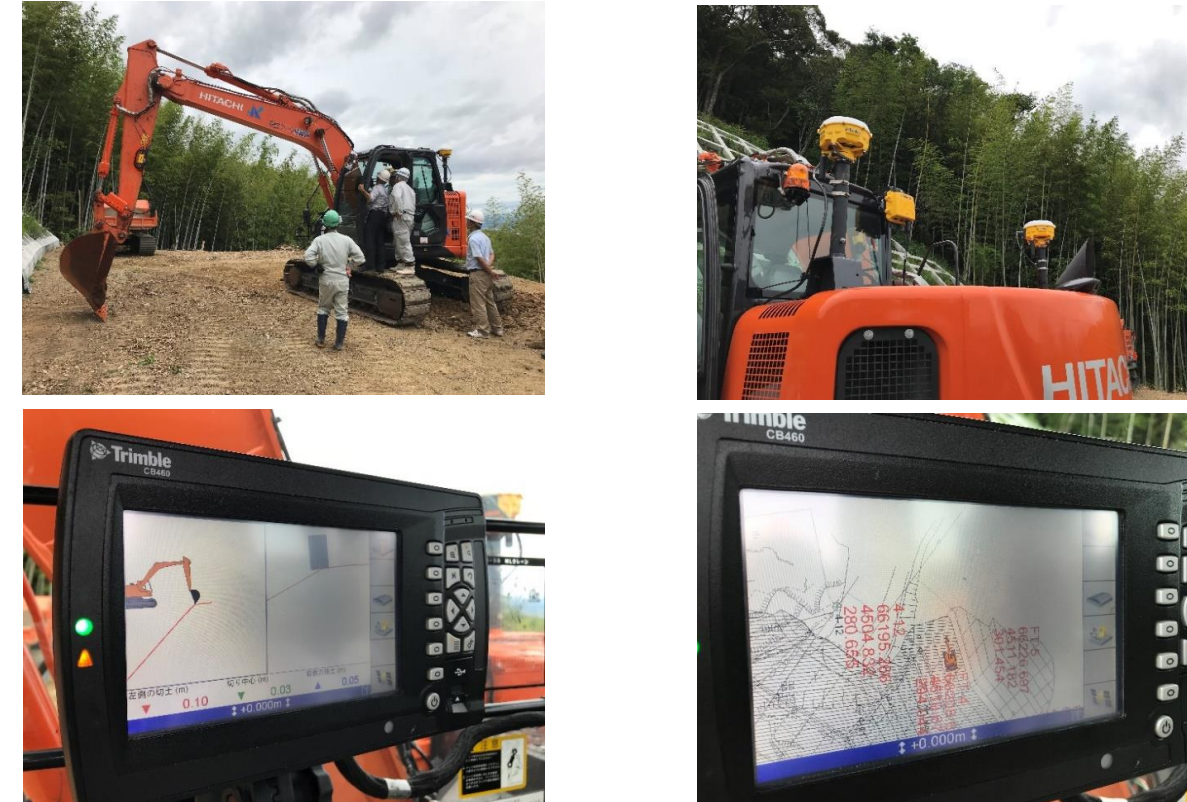
④3次元による土量の算出



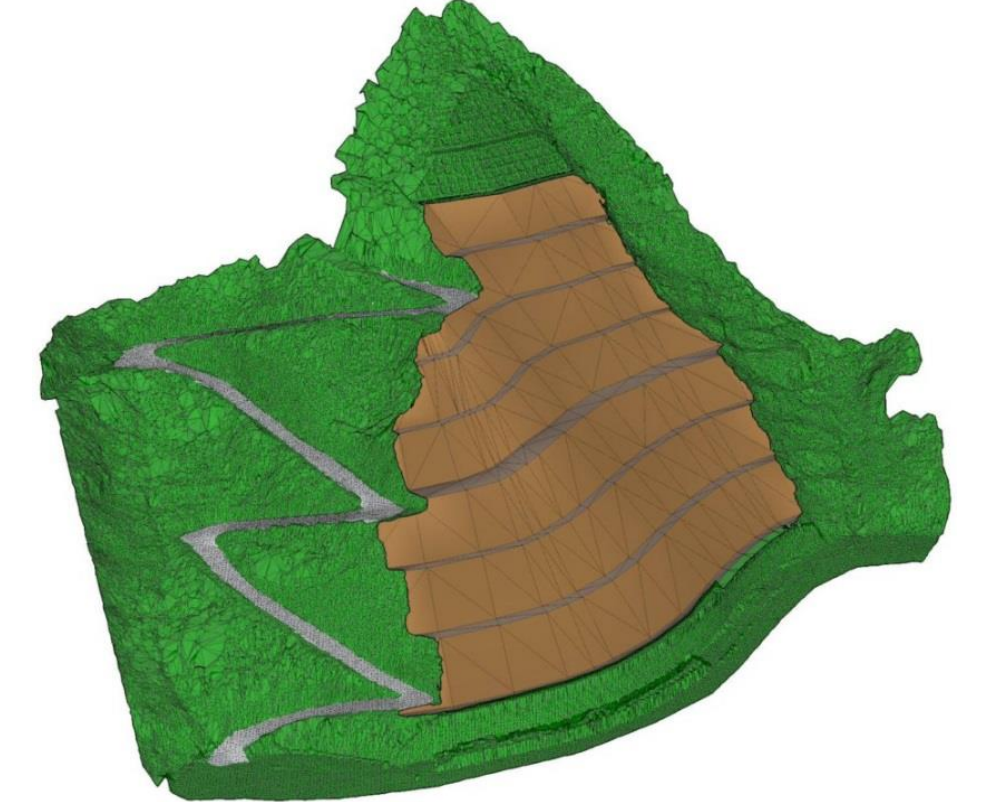
施工状況(切土掘削及び場内運搬)



⑤マシンガイダンス バックホウに作成計画データを登録



⑥切土・法面整形完了イメージ



ご迷惑をおかけしますが引続き、ご協力をお願い致します。通行の際はお気をつけてお通り下さい。



- 発注者 : 高知県高知土木事務所
- 施工業者 : 福留・関西新洋米村JV
- 現場代理人 : 佐竹 寿雄
- 監理技術者 : 北村 博孝
- 主任技術者 : 竹崎 雅人